

公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 28 年度第 1 回情報セキュリティ対策問題研究小委員会議事記録

I. 日 時：平成 28 年 6 月 22 日(水) 18：15 から 20：15

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 参加者：浜主査、佐々木委員、高倉アドバイザー、満永アドバイザー
トレンドマイクロ、日本電気
(事務局) 井端事務局長、野本 (記)

IV. 検討事項

8 月の大学情報セキュリティ研究講習会開催に向けて、全体会で紹介する「大学情報セキュリティベンチマークリスト」を見直し、評価の仕方や対応策モデルについて検討し、下記の意見があった。

1. 大学情報セキュリティベンチマークリストについて

経営執行部の関与について意識付けにウェイトを置き、大学組織としてどのように対応するのかセキュリティ全般を区分けすることで昨年度のベンチマークを 4 つの要素に整理した案が提示され、以下の指摘があった。

- ・ 第 1 部問 4 の危機意識の共有化、学内ルールの周知徹底、防御対策についての内容は、第 3 部にいどうしてはどうか。
- ・ 第 1 部問 5 の費用の割合は、大学の現状から最大値を 10%以上に設定してはどうか。
- ・ 第 1 部問 6 の費用をかけている内容は、一番費用をかけているものを聞くのではなく、複数回答で、IPA の資料を参考に項目を増やすことを見直してはどうか。
- ・ 第 2 部の情報資産は、重要な情報資産として、全ての資産を対象にはしない範囲と考えてはどうか。
- ・ 第 2 部問 1 など、検討しているの選択肢が必要ではないか。
- ・ 第 1 部または第 3 部で、遵守について考える必要があるのではないか。
- ・ 第 3 部問 1 のインシデント対応組織は、外部との窓口となる情報交換や共有する仕組みが必要ではないか。
- ・ 第 3 部問 3 の連絡体制は、学内の連絡体制としてはどうか。
- ・ 第 4 部問 1 のログ管理については、手順書は削除して、ログをとっているか否か、ログを解析しているか否かと単純にしてはどうか。
- ・ 第 4 部問 3 の持ち出し、持ち込みは、成績情報や研究情報などの持ち出しルールがあるか否かに関して追加してはどうか。
- ・ 第 4 部問 7 の脆弱性、保護対策は、脆弱性に絞り、外部に公開しているサーバに限定して質問し、OS やそれ以外のソフトの区分も考えられ、自動更新か手動更新かも分かれる。また、正規のパッチ以外に仮想パッチを適応させている場合も想定されるのではないか。
- ・ 第 4 部問 8 のバックアップについては、重要な情報資産のバックアップとしてはどうか。

2. ベンチマークリストの評価の仕方について

ベンチマークリストの評価配点表案が提示され、「経営執行部の情報セキュリティに対する取組み」40点、「情報資産の把握と管理対策」20点、「組織的・人的な対応」10点、「技術的・物理的対策」30点を配点したことが説明された。

- ・ ベンチマークは講習会前に加盟大学に回答依頼し、大学規模別に集計を考えている。
- ・ 基本的には、経営層のトップに対する方針等として打ち出す方向性でよいのではないかと。また、監査機能にはふれていないが、小規模大学もありリストからは外している。

3. 経営執行部の情報セキュリティに対する取組みについて

昨年度作成した取組みの資料を全体会の最初に紹介することになっている。

- ・ サイバーセキュリティ経営ガイドライン（経済産業省・IPA）の中でサイバーセキュリティ経営の3原則がまとめられており、大学向けに委員から整理した資料が提示された。
- ・ 経営執行部の情報セキュリティに対する取組みとしては、昨年度の資料に、3原則から必要な部分があれば追加を検討することにした。

V. 次回のスケジュール

- ・ 次回は、7月11日に開催し、大学情報セキュリティベンチマークリスト及び情報セキュリティの改善に向けた対策について引き続き検討することになっている。